

令和9(2027)年度入学者選抜における医学部医学科の選抜方法の一部変更について(予告)

令和7年3月  
弘前大学

令和8年度に実施する令和9年度一般選抜及び総合型選抜における医学部医学科の選抜方法等を下記のとおり一部変更します。

記

○一般選抜

【個別学力検査等の配点の一部変更】

〔現行〕

「数学」300点、「外国語(英語)」300点、「面接」300点	計900点満点
---------------------------------	---------



〔変更後〕

「数学」300点、「外国語(英語)」300点、「面接」 <u>点数化しない</u>	計600点満点
---	---------

個人面接について、引き続き実施しますが、点数化はせず段階評価とします。また、面接の評価が低い場合は不合格となる場合があります。

## ○総合型選抜Ⅱ

### 【出願要件のうち一部基準の廃止】

〔現行〕

「人物、学力ともに優れ、高等学校等における調査書の全体の学修成績の状況(評定平均値)が4.3以上の者」



〔変更後〕

上記評定平均値に関する出願要件を廃止します。

### 【選抜方法の一部変更】

〔現行〕

「個人面接」及び「ケーススタディの自学自習」



〔変更後〕

「個人面接」及び「総合論述」

「総合論述」

#### ●選抜方法

与えられた資料の内容を的確に捉え、課題を見出し、自身の考えの思考過程及び最終的結論に関して論述させる。自身の考えを論理的に構築・表現する力が求められる。

#### ●評価方法

資料の理解・解析・分析を通じて、課題解決に必要な論理的思考力と問題発見能力の他、医学分野における資質を以下の観点に基づき総合的・多角的に評価する。

1. 資料理解力:資料の本質を捉え、的確に解析する能力。
2. 問題発見能力:与えられた情報や状況から課題を見出し、それを適切に定義する能力。
3. 論理的思考力:課題に対する考えを論理的に構成する能力。
4. 分析力:資料や課題の要点を整理し、深く考察する能力。
5. 表現力:明確かつ説得力のある形で自身の考えを示す能力

## 【合否判定基準の一部変更】

〔現行〕

「青森県内枠」と「北海道・東北枠」の取扱い

- (1)「青森県内枠」受験者のうち合計点の点数順に上位 27 人を「青森県内枠」合格者とする。
- (2) (1)の結果、「青森県内枠」において、不合格となった者を「北海道・東北枠」に組み入れる。すなわち、「北海道・東北枠」と「青森県内枠(のうち不合格者)」を合わせて、上位 15 人を「北海道・東北枠」合格者とする。



〔変更後〕

「青森県内枠」と「北海道・東北枠」の取扱い

- (1)「青森県内枠」受験者のうち合計点の点数順に上位 27 人を「青森県内枠」合格者とする。
- (2)「北海道・東北枠」受験者のうち合計点の点数順に上位15人を「北海道・東北枠」合格者とする。

〔現行〕

いずれか1科目でも得点が著しく低い場合、不合格となることがある。



〔変更後〕

大学入学共通テストの合計点、個人面接の得点及び総合論述の得点のうち、いずれかの得点が著しく低い場合、不合格になることがある。